

市議会だより

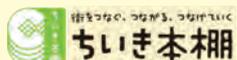
78



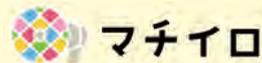
～第50回シルバー大運動会が開催される～

湯沢市立山田小学校グラウンドを会場に、湯沢地域老人クラブ連合会主催のシルバー大運動会が開催されました。

当日は、7地区25単位クラブの約250名の参加者でスプーンレースや玉入れなど6種目の競技や踊りが行われ、太極拳同好会の演示などもあり、みんなが楽しんで競技に参加したり声援を送っていました。



スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



第2回定例会

特集：出張!!なんでも意見交換会

【湯沢市観光物産協会・会員×総務財政常任委員会】

……………P.2・3
一般質問・議案審議（定例会）……………P.4～8
議案審議（補正予算概要）……………P.9
議決結果一覧表、賛否一覧表、討論…P.10～11
全国市議会議長会表彰、関係私企業……………P.12
議会改革度調査、議会からのお知らせ……………P.13
議会改革推進会議、行政視察報告……………P.14
令和5年度政務活動状況……………P.15
議会のうごき ほか……………P.16

特集

出張!! なんでも意見交換会

湯沢市観光物産協会・会員
(ふるさと納税関係者)



総務財政常任委員会

【令和6年6月4日実施】

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」
今回は、湯沢市観光物産協会・会員から7名の
皆さんと、

「ふるさと納税」

について意見交換を行いました。



意見交換の前に、ふるさと納税に関する
所管事務調査を実施した上で、臨みました。



2つのグループに分かれて話し合いました。

ふるさと納税に関わる方々と

日々感じられている事、思う事について伺いました。

◎意見交換会開催の経緯について

市で受け入れたふるさと納税は、本市の事業などへ充当される貴重な財源となっている。

より多くのふるさと納税を受入れることができ、産業や観光の振興、住民のための事業を行うことが可能となり、地域の活性化につながる。

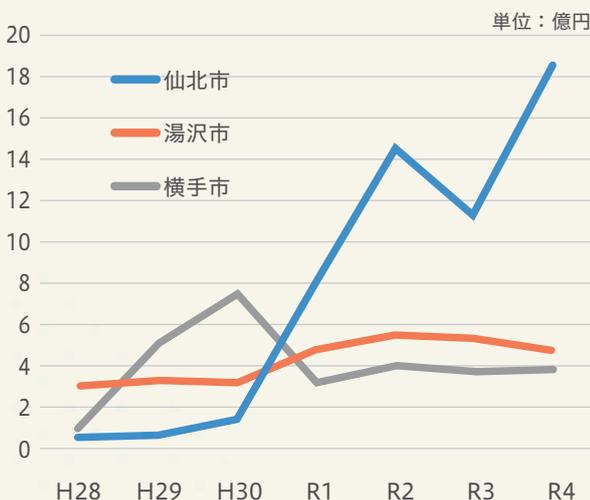
近年、本市のふるさと納税受入額は、4〜5億円代で推移しており、返礼品の見直しなど関係する課題の解消等を適宜行い、受入額の維持ができていますと考察される。

一方で、日本全体のふるさと納税の規模は年々

拡大し、自治体間での受入額の格差も広がっている。令和4年度のデータからは、宮崎県都市市の195億円超を筆頭に、秋田県内では仙北市が18億円を超えているのが現状だ。(下図参照)

こうした中、本市においても、このふるさと納税受入額が増加するために何が必要かについて、返礼品を出している会員が多く所属し、湯沢市からふるさと納税の特産品発送業務を請負い、御尽力いただいている湯沢市観光物産協会及びその会員の方とそれぞれの立場から御意見をお伺いする意見交換会の場を設けた。

ふるさと納税受入額推移



※総務省(関連資料)ふるさと納税に関する現況調査より

Q. 現在、やりこむ感と困っている点などについて

- ふるさと納税に係わる権限（裁量）はどこまでか範囲がわかりにくい。
- 返礼品において、偏りがないように平等性を重視している感がある。
- 返礼品等を発送する際のスペースが無く、作業効率が悪い。
- コンサルタントの出来る人材を確保できればもっと広く展開できると思われる。
- ふるさと納税に対しての理解不足や、手続きに不慣れなことで、ふるさと納税の返礼品として登録されていない例が多く見られる。

Q. 湯沢市のふるさと納税に言いたいこと、思っていることについて

- 返礼品のカテゴリーごとに目標額を決めて進めるべき。
- 返礼品を出す会社ごとのスキル・情熱量などには差があり、返礼品開発などに差があるように感じる。
- ふるさと納税に関する各団体と話し合いを持ち、その回数を重ねていくことが必要。
- 湯沢の「もの・こと」について冊子を入れたい。
- 稲庭うどんは一番の人気返礼品であるが、稲庭うどんの認知度は首都圏までで関西圏等では全然知られていない。もっとPRしてほしい。
- 業者間でのコラボ返礼品がもっとあっても良い。
- カタログの返礼品の掲載の仕方がバラバラなので専門の業者に見栄えのよいようにしてもらいたい。
- ふるさと納税を紹介するためのカタログ等が少ない。
- 高額な返礼品についても積極的に紹介していくべきである。

湯沢市ふるさと納税の返礼品カテゴリ別状況

(金額ベース)

順位	令和元年度	令和3年度	令和5年度
1位	青果品	うどん	うどん
2位	うどん	青果品	青果品
3位	他食品類	他食品類	工芸・雑貨
4位	米類	酒類	米類
5位	酒類	米類	川連漆器
6位	肉類	川連漆器	他食品類
7位	川連漆器	肉類	酒類
8位	菓子・スイーツ	菓子・スイーツ	肉類
9位	工芸・雑貨	工芸・雑貨	温泉
10位	温泉	温泉	菓子・スイーツ



青果には、さくらんぼやりんご、せりなどが、他食品類には、レトルト食品などが分類されています。

多くの気づきが出されました。

◎意見交換会を通して

- 各返礼品の表示について目を引くようなもの、魅力的なものとする。一緒に湯沢市の他の物産や観光地等の冊子を同封する。
- 全国に誇れる物産が多数あるが、それらを取りまとめるコンサルタントできる組織体制が必要だと思ふ。
- ふるさと納税が大きく上昇する自治体には米が人気になっていくところがあるので、米に対する対応を強化すること。
- 目標値を示して、対策を示すべき。6億円とかなく目標を10億円などとして取組むべきである。

Q. 具体的に受入額を上げる方策について

- ネット通販等を行いたいと潜在的に考えている業者が、ECサイトへ参画できる機会ととらえてもらいたい（積極的に）。
- ニッチなものでセット・コラボ返礼品を開発していく。
- 冷凍食品は、人気があり冷凍技術などを使った返礼品開発ができる施設があれば良い。
- 返礼品の写真は、きれいに撮ることで高級感やおいしく見せることにつながる。
- ふるさと応援大使にPR活動してもらおう。
- 高額納税者に対応できる返礼品を拡充すること。

今回、ふるさと納税額の増加に向けて返礼品等の面からの意見交換となったが、今回確認した様々な課題を一つ一つ検証しながら解決するとともに、観光・産業振興などをはじめとし、制度の意義の一つである応援したいと思える地域に選ばれること、そのような地域であることが重要であり、受入額増加への近道である。

これから寄附先として選んでもらえるよう、行政のみならず、地域、市民共に考えていかなければならない。

総務財政常任

委員会において引き続き研究していくテーマである。



議会FM番組のタイトルコールにも御協力頂きました。ご参加ありがとうございました。

令和6年

第2回 定例会

一般質問

5月31日から6月21日まで第2回定例会が行われ、人事案件、条例の一部改正および令和6年度補正予算など、報告2件、議案18件、陳情5件について審議しました。また、7人の議員が一般質問を行い、各議員が活発な議論を展開し、市政全般についてたどしました。

質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

一般質問

 各議員の一般質問の様子を、ユーチューブ動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
6 月 6 日	兼子 正寛 (一括)	◇産業振興について ◇学校教育について	P. 5
	寺田 純二 (一括)	◇高齢者の生活支援について ◇教育現場における問題について	
	藤田 健志 (分割)	◇酒米の地産地消について ◇公共施設における防犯カメラ設置状況について ◇学校給食費の未納分の取り扱いについて	P. 6
	高橋 達 (一括)	◇稲庭うどん振興条例について ◇予防接種の個人負担等の在り方について ◇国際交流の在り方について	
6 月 7 日	石川 隆一 (分割)	◇本市農業の振興計画について ◇湯沢駅周辺複合施設等整備事業について ◇中学校部活動地域移行推進事業について	P. 7
	佐藤 功平 (一括)	◇人口減少と高齢化対策について ◇少子化対策について ◇木質バイオマス発電について	
	佐藤 勝 (分割)	◇市政について ◇子育て支援について ◇学校教育について	P. 8

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆産業振興について

質問 飲食業や宿泊業等において、働き手不足や物価高騰が長期化している現状をどのように捉えているのか伺う。

答弁 コロナ禍前と同様に戻っていないことは認知している。今後は新たな取組など、ビジョンを含めてアドバイスしながら支援していきたい。

質問 市内経済を循環させるため、プレミアム付き飲食券事業等の実施が今後必要と考えるが所見を伺う。

答弁 飲食に限定しての支援は重要であり、飲食店だけでなく材料を納入している業者をはじめ様々な波及効果が見えやすいと考えている。今後の展開を十分に検討していく。

質問 小安峡の観光資源を最大限に活かす施策が必要と考える。大噴湯遊歩道までのエレベーター等の設置について伺う。

答弁 これまでも検討してきたが、まだ判断には至っていない。ニーズを把握し今後の検討としていく。

質問 議会から政策提言を行った、地熱・ジオパーク・ゼロカーボンを活かした教育旅行誘

致の推進について伺う。

答弁 地域資源を活用した魅力ある取組により、教育の普及啓発、地元の経済的な発展や地域コミュニティの活性化へとつながられるよう誘致を推進したい。地熱・ゼロカーボンを活かし、新たに見学先や体験メニューを取り入れ、積極的な情報発信により、旅行先としての認知度向上を図っていく。

◆学校教育について

質問 中学校部活動の地域移行を段階的に進めるにあたっての今後の課題について伺う。

答弁 地域移行を受け入れていただける運営主体や指導者の確保が課題であると考えている。国や県、関係団体の動向を注視するとともに、生徒の不利にならないよう対応していく。



◆高齢者の生活支援について

質問 高齢者単身世帯や高齢者のみで構成される世帯の大きな問題である買物支援について市長の見解を伺う。

答弁 生活協同組合コープあきたによる食材配達や、株式会社セブンイレブン・ジャパンや株式会社ヤマザワに移動販売を行っているなどしているほか、社会福祉協議会やJ.A.こまち福祉センター、有償ボランティアなどによる買物等の生活支援も行っている。また、本市の公共交通の利用は、通院と買物が多数を占めている現状にあり、高齢者の方々からは路線や便数を増やしてほしいとの声がある一方、利用者の減少や交通事業者における運転手の担い手不足といった課題も抱えている。

引き続き、現在利用いただけるサービスの周知を図りながら、地域の事業者等との連携により、買物や通院など誰でも安心して利用できる交通手段の確保と生活支援に努めていく。

◆教育現場の諸問題について

質問 給食費無償化の実現は、最大に評価できる施策である

が、学校給食事業における食品ロスの現状をどのように捉え対策するのか伺う。

答弁 栄養の観点で食育を考へ、和食や郷土料理も積極的に取り入れたいと考えており、児童生徒が食べやすいような味付けにしたり工夫をして、食べ残しが少なくなるよう努力をしている。

また、学級担任による給食指導や栄養教諭による食育の授業においても、好き嫌いをしないのでバランスよく食べることの大切さや、生産者と給食づくりに携わっている人への感謝の気持ちを育み、食べ残しをしないよう指導をしている。

今後このような対策を通して食べ残しを少なくし、食品ロスを減らすよう努めていく。



一般質問

◆酒米の地産地消について

質問 市内の水田のうち酒米の作付面積の推移を伺う。

答弁 平成9年には、約541ヘクタールの酒米の作付があり令和5年は、約3549ヘクタールの水稲作付面積のうち酒米は、約320ヘクタールまでに減少している。

質問 減少した要因は何かを伺う。

答弁 コロナ禍において、日本酒の販売量が急激に落ち込み、製造量が減少したと考える。これを機に酒米生産から主食米生産に転換した方がいるためであると考える。

質問 酒米の地産地消について市長の見解を伺う。

答弁 本市の酒米は、秋田県全体の50%を生産している現状を踏まえ、今後も酒米の里であることを再度県内外、海外にPRし認知してもらうことが作付面積増加につながると考える。

◆公共施設における防犯カメラ設置状況について

質問 設置状況について伺う。

答弁 現在、15施設に62台設置しており、主な施設として市役所本庁舎、湯沢駅東西通路や学校がある。

質問 市役所本庁舎前の駐車場において当て逃げ事故があったとの情報があるが、当局は把握

しているのか伺う。

答弁 把握はしていないが申し出があれば、可能な範囲内で支援していく。

質問 昨年の答弁の中では、増設については警察署や関係団体と協議の上、検討するとあったが、その後の状況について伺う。

答弁 昨年のご質問は、防犯対策として公共施設だけでなく、市内への防犯カメラ設置に関するものであり、このことについて協議をした実績は現在のところない。

◆学校給食費の未納分の取り扱いについて

質問 合併後の学校給食費の未納総額について伺う。

答弁 合併後の総額は、約600万円であり、人数は延べ179人、実人数は、83人である。

質問 諸事情により支払いが困難な場合の対応を伺う。

答弁 ガイドラインに基づき、インに基づき、徴収停止ができるか検討していく。



ふじた たけし 藤田 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆稲庭うどん振興条例について

質問 条例第2条の規定による今年度の取組について伺う。

答弁 業界の全体的な流通対策や経営基盤の強化を目的とする事業に費用の一部を支援している。また、市内6校の小学生を対象に、授業の一環として稲庭うどんの製作体験教室を実施することとしている。

質問 ふるさと納税返礼品人気ランキング上位「稲庭うどん」に期待することは何か伺う。

答弁 市を代表する特産品として本市の認知度の向上、ファンの獲得、寄附額向上の役割を期待している。

◆予防接種の個人負担等の在り方について

質問 高齢者や基礎疾患のある方に対して、さらなる負担軽減策を講じる考えがないか見解を伺う。

答弁 自己負担額の3分の1程度の2千円、この金額が他の市町村と比較しても適当であり、医師会との話し合いでも「まあ、そんなところではないのではない

ですか」と言うようなお墨つきをいただいている。この仕組みを進めていきたいと考えている。

◆国際交流の在り方について

質問 本市が国際交流を進める上で、教育の観点から教育長の見解を伺う。

答弁 グローバル社会で活躍する人材の育成を目指す観点から、学校教育においても国際交流を進めていくことは、児童・生徒にとって大変重要であると捉えている。今後も市内の小・中学校への海外からの体験入学や教育旅行を積極的に受け入れ、海外の文化や人材に触れる機会を創出していく。



たかはし とおる 高橋 達 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

一般質問

◆本市農業の振興計画について

質問 本市の農業従事者を取り巻く情勢は厳しさを増している。現状と課題について伺う。

答弁 持続的な発展を実現するには、農業の中核となる経営感覚と経営力を備えた担い手や新規就農者を確保し、水稲依存から収益性の高い農産物の生産を推進する必要がある。

質問 認定農業者の確保や育成について、現状と目標を伺う。

答弁 個人経営体の平均年齢は63・9歳、高齢化が進行し年々減少の傾向にある。認定農業者の目標割合を、令和3年度度の17・5%から令和9年度末で20%と設定しており農業関係機関や団体と周知に努め、認定制度の積極的な活用を推進していく。

◆湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

質問 施設の二階には図書館、歴史展示機能が配置されるがジオパークの関連資料や、ジオサイトの紹介を入れることにより一般の方だけでなく、小・中学生も学びの場となる。創意工夫をし、観光PRや物産販売など

も考えてほしいが見解を伺う。

答弁 内容を含め、市としての考えを指定管理者側に随時伝えていく。

◆中学校部活動地域移行推進事業について

質問 人口減少や少子化、学校の働き方改革など、運営体制も厳しくなり、地域移行は地域の連携を強化し生徒が所属する部活動がしっかりとできるような環境整備を整えることが大切だが教育長の見解を伺う。

答弁 運営主体の確保と併せ進捗状況を子供たちや保護者へお知らせし、具体的な姿を早くつかんでいただき、理解を得ながら進めたい。市民や学校、行政が力を合わせて、情報発信を含めた地域移行を進めていきたい。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆人口減少と高齢化対策について

質問 地方創生の下、地域の将来像を描いて十年経過したが、その効果と実績について伺う。

答弁 移住・定住施策の推進、人口減少に備えた施策の強化及び若い世代への未来投資型人材育成施策の推進により、持続可能な地域づくりを基本的な視点に据え、様々な施策に積極的に取り組む、平成30年度から令和5年度までに計126人の移住者を受け入れている。

質問 人口減少と高齢化の進行が避けられない中、地域社会を維持していくための高齢化対策を伺う。

答弁 高齢者の見守りや除排雪に係る共助体制への支援、地域による見守りや支え合い活動などに取り組み、安心して暮らせる地域社会を目指していく。

質問 加速的に進む高齢化と若者の減少により、共助体制が低下してきている地域自治組織との連携について伺う。

答弁 不足する地域人材について、支援職員や集落支援員などによるきめ細かな支援を継続し、ワークショップ等による課題解決に向けた取り組みを地域

と連携して実施していく。

◆少子化対策について

質問 少子化対策には直接的な経済支援も大切であるが、本市としてのビジョンを示し、総合的かつ長期にわたる粘り強い対応が必要だと思うが、考えを伺う。

答弁 湯沢市こども計画の策定を進めており、実情に応じた課題解決に全庁を挙げて取り組み、加速度的に進行する少子化を抑制していきたい。

質問 合計特殊出生率が県平均を下回っているが、対応策を伺う。

答弁 子育てしやすい環境づくりを推進すると共に、地域の未来を担う若者への未来投資により、地元定着を促進していく。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆市政について

質問 地域おこし協力隊制度を活用した取組効果と、任期を終えた隊員の本市定着に向けた支援効果について伺う。

答弁 ゆざわジオパークの情報発信や川連漆器職人、新規就農者の育成など産業振興分野を中心に活動しており、情報発信や人材育成において効果があつたと考える。また、隊員の定着においても継続して同様の活動や事業に取組めるよう起業支援を行っており、定着に結びついている。今後も全国の成功事例などを参考としながら定着に向けた支援を継続していく。

質問 電源立地地域対策交付金の活用計画に掲げる交付対象事業において、重点を置きたいと考える事業について伺う。

答弁 交付規則に基づき、市の事業に広く活用する予定であるが、本年度は放課後児童クラブの整備や中学校統合事業などの少子化対策、子育て施策や体育施設や道路照明のLED化などの脱炭素化施策、インフラ整備などのまちづくりの推進など、3つの施策に重点的に活用していく。

◆学校教育について

質問 小中学校におけるエアコン未設置の体育館及び特別教



室への整備方針と今後の計画について伺う。

答弁 近年の猛暑による健康被害から児童生徒を守るため、暑さ対策は喫緊の課題であることから、今年度は現状把握のため、夏季期間の室温等を測定する。導入費用やランニングコストなどを考慮し今後の整備方針や計画策定のための情報収集を行っていく。

質問 頻発するツキノワグマの出没状況を考慮し、徒歩通学シーズンにおけるスクールバスの利用を特例として検討すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 昨年度作成したクマ出没対応マニュアルに基づき、体制を構築しているが、危険を回避できないと考える場合は、状況に応じた様々な方法を検討、実施していく。

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

議案審議

ここでは、可決（同意）された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。

人事案件

- 教育委員会委員の任命
久米道人（再任／稲庭）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
谷藤昭人（新任／湯沢）

条例の一部改正

● 湯沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
保育士等の配置基準が改正されたことに伴う改正

指定管理者の指定

● 緑風荘
（指定先／株式会社サンアメニティ）

除雪機械の購入

- 除雪ドーザ 14t級 1台
契約金額 2304万5千円
契約相手 コマツ秋田株式会社湯沢営業所

除雪グレーダ

- 除雪グレーダ 37m級 1台
契約金額 3597万円
契約相手 コマツ秋田株式会社湯沢営業所

凍結抑制散布車

- 凍結抑制散布車 3t級 1台
契約金額 2310万円
契約相手 合資会社奥羽自動車整備工業

令和6年度 一般会計 1億6,841万9千円の増額 (補正後の予算総額は、319億4,959万7千円になります)

特別会計 1,414万2千円の増額 (補正後の予算総額は、117億5,327万8千円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

【補正予算 第2号】

▽デジタル変革推進事業

(情報政策課) 4,018万円
市民サービス向上のため、来庁した市民がこれまで行っていた窓口での各種申請書等への記入作業が不要となる「書かない窓口システム」導入経費の追加

▽地区センター整備事業

(雄勝総合支所) 282万7千円
旧院内小学校プール等の跡地に新たに院内地区センターを整備することを見据え、旧院内小学校プール等解体工事実施設計及び整備基本調査等を業務委託する経費を追加

▽予防接種事業

(健康対策課) 9,284万円
予防接種法改正により、新型コロナウイルスワクチンの予防接種については今年度から定期接種となり、重症化を防ぐ目的として、高齢者等に予防接種を実施するための経費の追加

▽スポーツイベント開催事業

(生涯学習課) 124万5千円
令和6年8月に来湯する台湾の中学生と地元中学生とのバスケットボール交流イベントの開催に係る経費の追加

▽中学校部活動地域移行推進事業

(生涯学習課) 123万1千円
中学校部活動の地域移行に向け「指導者の確保」を主たる目的として、実施にかかる指導者への謝礼支払などの運営を関係団体に業務委託する経費の追加

▽学校給食センター経費

(学校給食センター) 1,459万6千円
学校給食賄材料価格の高騰により、引き続き献立の多様性や質、栄養基準の維持を図るとともに、地場産物を活用した安全・安心な学校給食を円滑に実施するための経費の追加

【補正予算 第3号】

▽有害鳥獣対策事業

(農林課) 288万6千円
県内で相次ぐクマ被害への対応として、ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金を新設するとともに、鳥獣被害対策実施隊にクマ撃退スプレーを配付する費用などの追加

▽教育指導事業

(学校教育課) 534万6千円
クマの出没が相次いでいることから、児童生徒の安全を確保するため市内小中学校の全児童生徒にクマよけ鈴を貸与するとともに、学校教職員が野外活動時にクマに遭遇した際の対策として、市内各校へクマ撃退スプレーを配付するための費用の追加

▽上記ほか

145万2千円
クマの出没が相次いでいることから、放課後児童クラブや保育所等へクマ撃退スプレーを配置するための費用の追加

《各会計補正予算》

会計名		今回補正予算額
一般会計		1億6,841万9千円
特別会計	国民健康保険	795万5千円
	後期高齢者医療	△323万6千円
	介護保険	△713万9千円
	養護老人ホーム愛宕荘	1,651万5千円
	皆瀬更生園	4万7千円



令和6年 第2回定例会 議決結果一覧表

○提出議案（18件）／5月31日、6月21日上程 6月21日議決

※は賛否が分かれたもの

▼付託省略（6件）

番 号	件 名	議決結果
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて（湯沢市市税条例の一部改正について）	承 認
議案第57号	専決処分の承認を求めることについて（湯沢市国民健康保険税条例の一部改正について）	承 認
議案第58号	専決処分の承認を求めることについて（湯沢市過疎地域持続的発展支援のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について）	承 認
議案第59号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度湯沢市一般会計補正予算第12号）	承 認
議案第60号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
議案第61号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同 意

▼教育民生常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
議案第62号	湯沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	指定管理者の指定について（緑風荘）	原案可決

※

▼産業建設常任委員会 審査（3件）

番 号	件 名	議決結果
議案第64号	除雪機械の購入について	原案可決
議案第65号	除雪機械の購入について	原案可決
議案第66号	除雪機械の購入について	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（7件）

番 号	件 名	議決結果
議案第67号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第68号	令和6年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第69号	令和6年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第70号	令和6年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第71号	令和6年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第72号	令和6年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第73号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第3号）	原案可決

○陳情（5件）

▼総務財政常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第44号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	採 択

▼教育民生常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第28号	陳情書 湯沢市立歴史博物館建設について	不 採 択
陳情第39号	健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	不 採 択

※

▼産業建設常任委員会 審査（2件）

番号	件名	議決結果
陳情第41号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択 ※
陳情第43号	「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書	不採択 ※

○意見書案（1件）

番号	件名	議決結果
意見書案第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決

議案に対して討論が行われました

議案第63号 指定管理者の指定について（緑風荘）

議案第63号 指定管理者の指定について（緑風荘）に反対の立場で討論する。

議会に付される案件の資料は、指定管理者選定委員会の審査資料と共有する資料をもって審査すべきと考えます。

本議案は、審査委員会の決定項目のみの資料をもって審査が進められた。本来であれば応募者から提出された、提案内容を示す提案書と指定管理者選定委員会の審査資料をもって、議会としての審査を行うことが本来の姿と考える。

また、慣例的に応募者からの資料が外され、指定管理者選定委員会の決定内容だけで進められているように感じている。

よって審査資料・不備と考え、議案第63号は否とする反対討論とする。



賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。
議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯和会・公明							政和会					湯沢政策研究会					議決結果
	1	9	10	11	12	17	18	7	8	14	15	16	5	6	3	4	13	
議員名	兼子正寛	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝	加藤昭嗣	
議案第63号	○	×	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
陳情第39号	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
陳情第41号	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
陳情第43号	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択

- ※ 議案第63号 指定管理者の指定について（緑風荘）
- ※ 陳情第39号 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情
- ※ 陳情第41号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- ※ 陳情第43号 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書

全国市議会議長会表彰



◎正副議長4年表彰
渡部正明 議員



◎議員在職20年以上表彰
柏原久寿 議員



◎議員在職10年表彰
沓澤正雄 議員



◎議員在職10年表彰
加藤昭嗣 議員

5月31日、本会議の冒頭に、全国市議会議長会より表彰を受けた議員に高橋肇議長から表彰状と記念品が伝達されました。

表彰を受け、柏原議員は「支えていただいた皆さまに感謝いたします。改めて初心に返り議員活動がんばっていきます。」

渡部議員は、「皆様のご理解ご協力のお陰で職務を務めることができました。感謝申し上げます。これからも湯沢を元気にするために頑張ります。」

加藤議員は、「これまでお世話になりました皆さまへ感謝するとともに、これを励みに今後もしっかりと議会活動に取り組んでまいります。」

沓澤議員は、「今後も湯沢市の発展に向け議員活動を全力で頑張りますので、ご支援を宜しくお願い致します。」

と各議員から市民の皆様へ向け、お礼の言葉がありました。

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆ 関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和6年2月1日から令和6年4月30日までに締結したもの 該当なし
- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和6年2月1日から令和6年4月30日までに締結したもの 該当なし



**議会改革度調査
2023
ランキングが
発表されました**

この調査は、早稲田大学マニファエスタ研究所が毎年、全国地方公共団体議会事務局に対し、前年一年間の議会活動に関する調査を行い、数値化されたランキングにしているものです。総合順位については「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の三つのカテゴリーの点数が足し合わされてランキング化されます。これらは、あくまで一つの指標となりますが議会のいわば、通知表とも言えます。

前回に比べて、「議会機能強化」の分野において得点が上がっており、全国総合順位が43位となりました。

今後も、議会改革を一層進めていくとともに、市民の皆さまから評価いただける議会を目指してまいります。



まちなかプチ議会を開催しています



議会広聴活動の一環としてまちなかプチ議会を実施しています。市民の皆さんと議員が気軽に「市政のこと」や「議会活動のこと」などについて語り合う場を設けておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



5月26日「まちなかプチ議会in市民マルシェ」を開催しました。



6月30日「まちなかプチ議会inストリートマルシェ」を開催しました。



**FM番組
ハロハロ☆
まちトーク!!ゆざわ
の放送がはじまりました**

湯沢市議会では、議会をより市民の皆さんに身近に感じていただくこと、議会活動について、広く情報を公開することを目的に、今年度よりラジオ番組を作成し、エフエムゆーとぴあ(76.3MHz)で放送しております。

この番組では、湯沢市議会で開催する意見交換会などイベントの開催告知や取り組みの内容、各委員会の活動状況などをお知らせしていきます。放送は随時放送になりますので、湯沢市のホームページやSNS、新聞の番組欄などで周知し放送しております。是非お聞きください。



YouTubeチャンネル

番組へのご意見や感想、お問い合わせは下記までお寄せください。
FAX番号: 0183-72-3780
メールアドレス: gikai@city.yuzawa.lg.jp



このようなことが
議論されています

【議会改革推進会議】

令和6年6月4日 議会改革推進会議 全体会を開催し、
加藤政策検討会会長が政策検討会の協議結果を報告。

議会改革推進会議 政策検討会

令和6年4月17日

■案件 台湾をターゲットとするインバウンド
誘客の推進に関する市担当課へのヒア
リング

- ①インバウンド誘客に関する基本スタンスと
取組方針について
- ②インバウンド受入態勢の現状と今後の整備
計画について
- ③関係団体等との連携の状況について

令和6年5月8日

- ①台湾をターゲットとするインバウンド誘客
の推進に関する政策提言について
- ②議会改革に関する取組について



【議員発議】

台湾をターゲットとするインバウンド
誘客の推進に関する政策提言について

(宮原晃議員ほか5名)

《報告概要》

市の担当課にヒアリングを行ったところ、積極的に取り
組んでいることを確認したため、現時点では政策提言を行
う必要性は認められないとの意見が多数であったことから、
政策テーマには選定しないことに決定した。

【議員発議】

議会改革に関する取組について (高橋達議員)

《報告概要》

「常任委員会への重複所属を可能とすること」、「重複所属
を可能とするために、会期日程の調整を行うこと」について、
全体会に課題提起する。

《協議概要》

課題提起された2項目について協議した結果、全会一致
での決定ができないため、取組を行わないことに決定した。
(全会一致による採択でない)

産業建設常任委員会 行政視察報告

5月13日(月)～15日(水)

岐阜県飛騨市「電子地域通貨さるぼこコイン」について

「観光誘客の取組について」

岐阜県下呂市「観光誘客の取組について」

●飛騨市 飛騨市は、地域金融機
関「飛騨信用組合」が飛騨市・高山
市・白川村で利用できる電子地域通
貨「さるぼこコイン」を様々な分野
で活用し、域内経済の循環を活性化
させている。観光誘客の取組におい
ては、地域の恵みや持ち味を大切に
して行われる「まちづくり」を新た
な価値と位置付けて誘客を進めてい
る。また、データ分析に力を入れ、
効果的な施策を打ち出している。本
市が抱えている域内経済の循環と観
光誘客の課題に対して、非常に参考
となる視察であった。

●下呂市 下呂市は、観光振興の活
性化によって、他産業への普及や、
にぎわい創出に取り組んでいる。平
成28年に関係団体との連携を図るた
め、DMOを発足させ、観光を市の
基幹産業と捉え、下呂温泉を中心
に集客を行い、市内全域に経済効果
を波及させる仕組みを構築している。
本市において、観光誘客は最重要課
題であり、市内全域の資源をどのよ
うに活用して観光施策を推進すべ
きかを強く感じた視察であった。



▲飛騨市役所



▲下呂市役所

令和5年度の政務活動状況をお知らせします

ここでは、会派および会派に属さない議員の主な活動状況とあわせて政務活動費の執行状況について報告します。

会派とは、議会内に結成された、同じ考えを持った議員の集まりのことをいい、湯沢市議会では、2人以上で構成される団体のことを指しています。

◆令和5年4月1日～令和6年3月31日

名称	湯和会・公明	政和会	湯沢政策研究会	宮原晃議員	佐藤勝議員	加藤昭嗣議員
主な活動内容	①R5.6.25-26 ◇調査研究／要請・陳情活動（東京都）	①R5.8.20 ◇広報（会派活動報告チラシ）	①R6.2.7 ◇研修（静岡県）	①R5.10.25-26 ◇調査研究（青森県）	①R5.10.25-26 ◇調査研究（青森県）	①R5.10.25-26 ◇調査研究（青森県）
	②R6.1.7 ◇広報（会派活動報告チラシ）	②R5.10.24-26 ◇調査研究（福岡県）	②R6.3.24-25 ◇調査研究（京都府）	②R6.3.26-27 ◇研修（東京都）	②R6.3.26-27 ◇研修（東京都）	
	③R6.3.24-25 ◇調査研究（東京都）	③R5.10.25 ◇資料購入（書籍）				
	④R6.3.28 ◇事務所費（レターケース）	④R6.3.18 ◇調査研究（宮城県）				

※このほか、政務活動費を伴わない勉強会なども行われています。



「政務活動費」とは、議員が政策立案、政策提言などを行うための調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。

本市では、湯沢市議会における会派および会派に属さない議員（会派無所属議員）に対して、議員1人当たり月額10,000円を交付の上限としています。

政務活動費の交付を受けた会派の代表者または会派無所属議員は、当該年度終了後、収入および支出の報告書（収支報告書）を作成し、領収書などの証拠書類を添えて議長に提出しています。

湯沢市議会では、より一層、政務活動費の運用の透明性を高めて、市民に対する説明責任を果たすため、「**完全後払い**」として、収支報告書や領収書などをホームページで公開しています。

令和5年度 湯沢市議会政務活動費執行状況一覧

市ホームページで公開しています▶



◆令和5年4月1日～令和6年3月31日

（単位：円）

	湯和会・公明	政和会	湯沢政策研究会	宮原晃議員	佐藤勝議員	加藤昭嗣議員	計
交付上限額	840,000	650,000	240,000	120,000	120,000	70,000	2,040,000
交付金	787,880	579,166	240,000	103,900	103,790	30,060	1,844,796
その他収入	200	2,600	14,330	210	210	210	17,760
収入合計	788,080	581,766	254,330	104,110	104,000	30,270	1,862,556
調査研究費	278,420	35,582	211,970	30,270	30,270	30,270	616,782
研修費		427,210	42,360	73,840	73,730		617,140
広報費	256,960	116,974					373,934
要請・陳情活動費	189,450						189,450
資料購入費		2,000					2,000
事務所費	63,250						63,250
支出合計	788,080	581,766	254,330	104,110	104,000	30,270	1,862,556

※その他収入については、各会派及び議員が負担しているものなどを表します。

※陳情活動と調査研究、研修等を同一行程で行った場合は、1つの項目にまとめて計上しています。

議会のうごき

4月・5月・6月

- 4月5日 4月期 月イチ👉オンラインミーティング
- 4月15日 令和6年度第1回議会改革研修会、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
- 4月16日 広報広聴委員会
- 4月17日 議会改革推進会議政策検討会
- 4月24日 行政視察受入れ（宮城県栗原市議会）、行政視察受入れ（愛媛県今治市議会）
- 4月26日 5月期 月イチ👉オンラインミーティング
- 5月8日 議会改革推進会議政策検討会、令和6年度第2回議会改革研修会、総務財政・産業建設常任委員会委員協議会
- 5月9日 広報広聴委員会、教育民生常任委員会委員協議会
- 5月13日 産業建設常任委員会行政視察（～15日、岐阜県飛騨市、下呂市）
- 5月15日 行政視察受入れ（静岡県焼津市議会）
- 5月17日 全員協議会、湯沢駅周辺複合施設整備事業に係る意見交換会、総務財政常任委員会所管事務調査
- 5月21日 行政視察受入れ（滋賀県高島市議会）
- 5月24日 議会運営委員会
- 5月26日 まちなかプチ議会 in 市民マルシェ
- 5月31日 本会議（開会）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
- 6月3日 6月期 月イチ👉オンラインミーティング
- 6月4日 本会議（質疑・付託）、議会改革推進会議全体会、出張!!なんでも意見交換会（総務財政常任委員会）
- 6月6日 本会議（一般質問）
- 6月7日 本会議（一般質問）、広報広聴委員会
- 6月13日 総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、予算決算常任委員会分科会、教育民生常任委員会委員協議会
- 6月18日 予算決算常任委員会全体会、全員協議会
- 6月20日 議会運営委員会、出張!!なんでも意見交換会（産業建設常任委員会）
- 6月21日 本会議（閉会）、予算決算常任委員会全体会、議員全員協議会、湯沢駅周辺複合施設整備に関する意見交換会
- 6月27日 広報広聴委員会
- 6月27日 令和6年度第3回議会改革研修会
- 6月30日 まちなかプチ議会 in ストリートマルシェ

■ご意見等をお寄せください。

●湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただくほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵 送：〒012-8501
 湯沢市議会事務局 宛（住所不要）
 F A X：0183-72-3780
 メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp



※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。

9月定例会の日程（予定）

8月30日	本会議 開会（議案上程、提案理由説明）
9月3日	本会議（議案質疑・付託、請願・陳情付託）
9月5日	本会議 一般質問
9月6日	本会議 一般質問
9月9日	（一般質問 予備日）
9月12日	常任委員会・分科会
9月13日	（常任委員会 予備日）
9月18日	予算決算常任委員会（全体会）
9月25日	本会議（採決）閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は8月22日（木）午後5時

議長交際費(4月・5月・6月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
祝金		0	0
寸志		0	0
会費	東北市議会議長会定期総会出席者負担金 ほか	15	107,000
弔慰		0	0
見舞		0	0
賛助	原水爆禁止国民平和大行進 協賛金	1	5,000
接遇	愛媛県今治市議会来湯時の歓迎酒代 ほか	2	6,500
印刷		0	0
合計		18	118,500

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。



秋田県湯沢市議会

ユーチューブ
チャンネル

■議会傍聴について

●本会議や各委員会は、当日受付でどなたでも傍聴できます。
 開催日に、市役所本庁舎4階
 議会事務局までお越しください。



傍聴の仕方

■議会中継について

●本会議の様子は、配信（ライブ・録画）をしています。ご覧ください。



ライブ・録画

委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
 高橋 佐藤 寺田 宮原 小田嶋 藤田
 愛純 秋健
 達子 二晃 一志

広報広聴委員会

（宮原 晃記）

全国的に人口減少が問題になっていますが、今、秋田県の人口は90万人を割れる状況になっています。湯沢市においても減少が続いており、合併時の人口5万5千人から4万人を割り、現在は3万9千人台になっています。また、人口推移の分析によると2030年には、3万4千人台に2040年では2万7千人台へとさらに、2045年には2万3千人台にまで減少が予想されています。湯沢市においても子育て支援を行っているものの、直ぐに結果が出るものではないが、より一層の支援拡充をして安心して子育てできる環境づくりを考えていかなければならないと感じています。

